

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月26日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 3870500414 | | |
| 法人名 | 新居浜医療生活協同組合 | | |
| 事業所名 | グループホーム 香り草 | | |
| 所在地 | 新居浜市新田町2-8-24 (電話) 0897-65-3681 | | |
| 管理者 | 才川 真由美 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 JMACS | | |
| 所在地 | 松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年9月24日 | 評価確定日 | 平成20年11月26日 |

【情報提供票より】 (平成20年9月10日事業所記入)

| | | | | | |
|----------------------------|----------------|--------------------|------------------------|------|------|
| (1)組織概要 | | | | | |
| 開設年月日 | 平成12年3月30日 | | | | |
| ユニット数 | 1ユニット | 利用定員数計 | 8人 | | |
| 職員数 | 9人 | 常勤 | 7人, 非常勤 2人, 常勤換算 7.00人 | | |
| (2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く) | | | | | |
| 家賃(平均月額) | 10,500~21,000円 | その他の経費(月額) | 利用状況により異なる | | |
| 敷金 | 有(円) ⑧ | | | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) ⑧ | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 | | |
| 食材料費 | 朝食 | 400円 | 昼食 | 400円 | |
| | 夕食 | 400円 | おやつ | 円 | |
| | または1日当たり | | 1,200円 | | |
| (3)利用者の概要 (平成20年9月10日現在) | | | | | |
| 利用者人数 | 8名 | 男性 | 1名 | 女性 | 7名 |
| 要介護1 | 1名 | 要介護2 | 0名 | | |
| 要介護3 | 1名 | 要介護4 | 5名 | | |
| 要介護5 | 1名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 88歳 | 最低 | 82歳 | 最高 | 101歳 |
| (4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算 | | | | | |
| 指定 | あり・なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 | | | |
| 指定 | あり・なし | 指定認知症対応型通所介護 | | | |
| 届出 | あり・なし | 短期利用共同生活介護 | | | |
| 加算 | あり・なし | 医療連携体制加算 | | | |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平屋で一戸建ての事業所で、手入れの行き届いた庭に季節の草花も多く、利用者の目を楽しませてくれている。古くから使い込まれた家具や調度品等が使われている。利用者が日中過ごすこと多い居間は、床暖房を設置し、利用者の絵や季節の草花があちらこちらに飾られていた。
 食事介助時、職員は、利用者ご自身の力で、できることを大切に、無理なく行えるよう声をかけながらサポートされていた。利用者の中には、ご自分の食器を洗っておられる方もいた。事業所では、食事に力を入れておられ、低カロリーに心がけ、一日30品目を実行されている。野菜を中心に毎食バランスの良い献立を作り、主食も雑穀米・麦飯・雑炊と工夫を凝らし、乳製品も多く採り入れるようにされている。

【質向上への取組状況】

| |
|--|
| 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| ・前回の評価結果を受けて、持病のある方への食事作りについて栄養指導を受けられ、調理方法・味付け等について、さらに工夫や配慮を重ねられた。 |
| 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| ・自己評価を、全職員で取り組むことで、日々行っているケアについて振り返り、皆で確認するいい機会になったと話しておられた。 |
| 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| ・運営推進会議では、利用者に提供している糖尿食を試食いただき、感想をいただいた。法人の訪問看護所長を中心に、出席者で病気や予防についても学ばれた。緊急時の対応についての話し合いでは、地域の方から「何かあったら直ぐに駆け付けますね」との言葉をいただいた。 |
| 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| ・年一回、家族会を開催し、ご意見や要望を伺っておられる。ご家族より「何かあれば協力します」との力強い言葉をいただいている。 |
| 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| ・自治会に加入され、地域行事に参加されている。事業所で芋煮会や山椒の会(事業所のシンボル木にちなんだ名称の会)を開催し、地域の方達を招き、交流されている。 |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 香り草

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

才川 真由美

評価完了日

平成20年9月24日

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) | | |
| | | | 地域の行事への参加。近隣のスーパー散歩者の方に挨拶や話しかけを頂いている。 | | 利用者様の高齢化で地域の皆様にグループホームに訪れてくれる様に季節の行事へ参加を呼び掛けてゆきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所では「自分がされて嫌な事は人にしない」という理念のもと、地域の方達とのお付き合いの中でも目指していきたいと考えておられた。 | | さらに、貴事業所が地域密着型サービス事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくのか、ということについても話し合ってみてほしい。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | グループホームに二ヶ所掲示してあり、理念の共有と実践は心がけている。 | | 今後は職員一同で理念作成を検討してみる必要がある。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 日々のケアの中やカンファレンス時、理念と合わせて話し合いをされている。 | | |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | グループホームの玄関に理念を掲げております。地域の人々に理解していただけるまで浸透していない。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 挨拶を交わし、立ち寄って会話する様になったので何かの時には協力していただく様になった。 | | |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 自治会の行事等に参加させてもらっている。(夏祭り、清掃等) (外部評価) 自治会に加入され、地域行事に参加されている。事業所で芋煮会や山椒の会(事業所のシンボル木にちなんだ名称の会)を開催し、地域の方達を招き、交流されている。 | | |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 評価の意義は理解している。第三者の意見を取り入れ改善するよい機会だと思う。 (外部評価) 自己評価を、全職員で取り組むことで、日々行っているケアについて振り返り、皆で確認するいい機会になったと話しておられた。前回の評価結果を受けて、持病のある方への食事作りについて栄養指導を受けられ、調理方法・味付け等について、さらに工夫や配慮を重ねられた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|---|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 運営推進会議には利用者の家族と、地域の人達と意見交換し、サービスについて理解していただくようにしている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 運営推進会議では、利用者に提供している糖尿食を試食いただき、感想をいただいた。法人の訪問看護所長を中心に、出席者で病気や予防についても学ばれた。緊急時の対応についての話し合いでは、地域の方から「何かあったら直ぐに駆け付けますね」との言葉をいただいた。 | | 会議では、地域のメンバーも増やされ、勉強や意見交換もされている。今後、貴事業所のケアの質向上に向けて、地域の方からの意見の引き出しの工夫を重ねていかれることが期待される。 |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 事業所の運営等困った時に相談し、指導していただいています。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 介護相談員の受け入れをされている。地域の方からの相談については、市の担当者の方と話し合い、対応されている。 | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 権利擁護の制度については勉強している | | |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 日常のケアにおいて、拘束がないように心がけている。一人一人の人格を尊重した対応を心がけている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 十分な説明を行い納得頂けた時点で契約書を制作している。 | | |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 個々のケアにおいては、利用者、家族の意見を取り入れている。いつでも来所され、お話を聞けるようになっていく。 | | |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 状態に変化があれば、すぐに家族に連絡、その都度対応している。家族の許可のもとに、健康診断や、インフルエンザの予防接種などしている。 | | |
| | | | (外部評価) 利用者は、近隣からの利用が多く、ご家族の来訪も頻繁である。ホーム便りをご家族に送付し、行事時の様子や運営推進会議で話し合われた内容も知らせておられる。 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 苦情処理箱を設置したり、日頃よりコミュニケーションを計るようつとめている。 | | |
| | | | (外部評価) 年一回、家族会を開催し、ご意見や要望を伺っておられる。ご家族より「何かあれば協力します」との力強い言葉をいただいている。 | | さらに、ご家族が意見の出しやすいような雰囲気作りや家族同士の交流を図り、又、家族会も充実していきたいと考えておられた。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 月1回の運営会の実施、申し送りや気づいた事はノートに書き、情報の交換意見を出している | | |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 利用者さんの生活様式に合わせ、早出、遅出などを導入している。 | | |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 異動はありません。 | | |
| | | | (外部評価) 職員は、定期的に食事会等もされており、職員間のチームワークがよい。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 日々のケアの実施から職員同士がコミュニケーション取りながら学んでいる。マンツーマンの教育も行なっている。 | | |
| | | | (外部評価) 職員は、法人内外の研修を積極的に受講し、学んでおられる。職員は、法人内研修で薬について学ばれ、「眠剤や下剤を減らすケア・声かけに取り組むことが出来るようになった」と話しておられた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|--|--|---------------------------|--|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | |
| | | | グループホーム研修会等に参加され交流をしている。地域の医療連携研修会にも参加、質の向上に努めている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 法人内の行事（花見・もちつき等）に参加されている。市の地域医療連携研修会の際には、介護者・介護体験者との話し合いがなされた。 | | |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 定期的な会食等の場を持っている。 | | |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | |
| <p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p> | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | |
| | | | 施設見学などしていただき、家族・本人達がホームに馴染んでもらう様努力している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 入居時に今後の希望等も語って頂けるよう、配慮している。 | | |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 必要としている支援を具体化し、ケアプランに反映させている。 | | |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) 今まで馴染んでこられた歴史を家族様と共に探り、その人らしい生活が出来る環境作りに配慮しています。 (外部評価) 事業所利用の待機者の方に毎月お電話し、ご本人の状況を聞くようにされている。入居前には事業所を見学いただき、利用者とともに過ごしていただくようにされている。事業所の建物(築95年)は、利用者の年代に馴染みやすいと話されていた。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 人生の先輩者としての尊重と尊厳を守り、共に対等な人間関係を維持する事を目標としています。 (外部評価) 時に、利用者は、一晩中お話しをされることもある。職員は、利用者から昔の言い伝えや知恵等を教わることもある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|---------------------------|--|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) いつでも気持ち良く来所して頂ける様、気配りしている。毎日来所して下さり、食介などの支援もあります。 | | |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 利用者様とご家族様のだんらんの支援、外出の支援をさせていただいています。 | | |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている | (自己評価) 昔の職場の同僚・教え子さん・昔馴染みの友人・隣人・地域の方、ご家族様の訪問を支援しています。 | | |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 日中はリビングで過される方、自室で休まれる方、思い思いですが、馴染みの関係が出来つつあり、アットホームな雰囲気が見られています。 | | |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 入所前利用していたサービス機関の行事に参加したり、スタッフ間の交流もある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|---|---------------------------|---|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の個性を尊重し、その人らしい生き方、暮らし方を尊重、近付ける様心がけ、工夫をしている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 職員は、意思表示し難い利用者の表情等から、思いを汲み取ることが出来るようになったと話しておられた。職員は、利用者の居室で、お若い頃の話をお聞かせてもらおう時間を作るようにされている。 | | 管理者は、情報収集したことを記録する書式を工夫されている。さらに、今後も個々の思いの把握に努め、介護計画につなげたいと考えておられた。 |
| 34 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 適度な運動、絵画、俳句等の趣味の継続支援援助をしている。 | | |
| 35 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) | | |
| | | | バイタルチェック等、日々行い心身状況を把握し、一人一人快適な状態でゆったり、穏やかに過せる様務めている。 | | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の身体状況の変化を日々本人の出来る事、出来ない事、望まれる事、望まれない事、ご家族の希望をしっかりと把握し又、とらえ、状態に合った介護計画を作成する。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 日常生活を記した「状態観察記録」や職員の日々の気づき等をもとに、担当者が「介護支援記録」にまとめ、全職員で話し合い、介護計画を作成しておられる。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 介護計画を利用者の家族と相談し、変化が生じた場合、スタッフ、医療関係者、家族とも協議し、計画見直し作成する。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 計画は、毎月評価を行い、3ヶ月の定期的な見直しと変化のあった時には、随時見直しを行っておられる。 | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 日々、状態観察記録を共に作成し、スタッフ間同士の共有を計っている。又、問題があれば介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 日常生活のリハビリ 医学的管理の支援 栄養管理の見直し レクリエーション支援 地域交流 ボランティアによるお話相手、心の支援 他施設との行事交流 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者の希望を受け、職員は、利用者とともにご自宅に同行し、数時間過ごされることもある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | (自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 家族、ボランティア等の見学等の受け入れをしながら地域との交流を図っている。 | | |
| 41 | | (自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | ケアマネージャーでサービス機関同士の交流の場をもうけ、意見交換をし、利用者の自立支援に役立っている。 | | |
| 42 | | (自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 年6回の運営推進会議を持ち、スタッフの全員参加と支援センターの方、地方の方と話し合いを持ち長期的なケアマネジメントに繋げている。 | | |
| 43 | 18 | (自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 訪問看護ステーション(24時間対応)や訪問往診、受診など利用にあり、かかりつけ医師と家族、スタッフと納得のいく関係が出来つつある。 | | |
| 44 | | (外部評価) 認知症の専門医等の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 受診時、職員が同行されたり、ご家族が付き添われることもある。訪問看護との連携を図っておられる。 | | |
| 44 | | (自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 中核症状についてはかかりつけ専門医に受診している。家族様同行で情報交換を密にしている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 訪問看護師さんと馴染みの関係が出来ていて、親身に相談、支援をしていただいている。24時間(緊急時)対応があり、安心です。 | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 入院時、家族、スタッフが、常時面会などして情報交換に努め退院を待っている。 | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 家族、スタッフ(本人)とどのようなターミナルを望んでいるかを協議し、共有し、人間らしい尊厳ある終末期と取り組みました。 (外部評価) 利用者は、事業所で最期を送りたいという希望を持っておられ、主治医やご家族とも話し合い、ご家族の協力を得て看取りを支援しておられる。終末期には、訪問看護と情報を共有し、その都度、相談しながら支援されている。 | | |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) もう少し、出来るだけ早い段階で今後の変化に備えて検討や準備をしたい。 | | なかなか、切り出し難い面もある。 |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) あまり例が無いが、希望があればご本人の選択意思を尊重したい。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報 の取り扱いをしていない | (自己評価) | | |
| | | | 各自の人格を尊重し、プライバシーを守れるように心がけている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 職員は、利用者のおむつを交換する際、ご本人の気持ちに配慮され、バスタオルを掛けて交換を行うようにされている。 | | |
| 51 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 利用者や家族と話し合い、職員はその日の希望によって入浴、食事等いろいろな面で支援している。 | | |
| 52 | 21 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の生活のペース希望に合わせてるように工夫している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 特に、離床について、体調等にも配慮して支援されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 利用者の家族が理容師さんをしていて、定期的にグループホームに来て下さって理髪している。 | | |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 季節の行事、又、利用者さんの誕生会には手作りケーキ等を準備、皆で食事を楽しんでいる。又、旬の食材を使い、目で楽しめてバランスの良い食事作りに努めている。 (外部評価) 食事介助時、職員は、利用者ご自身の力で、できることを大切に、無理なく行えるよう声をかけながらサポートされていた。利用者の中には、ご自分の食器を洗っておられる方もいた。事業所では、食事に力を入れておられ、低カロリーに心がけ、一日30品目を実行されている。 | | |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 糖尿食の利用者さんが2名おられる。勉強会を開き、食事支援している。 | | |
| 56 | | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) 時間帯を探り、トイレ誘導、又、オムツ交換をしている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 毎日入浴したい方がおられ、支援している。バイタル等、様子を見ながら出来る限り支援をしている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 職員は、日々利用者に入浴時間帯の希望を聞きながら支援されている。毎日入浴される方もおられる。入浴中は昔話をされる方もおられ、職員は耳を傾けておられる。季節に応じて菖蒲湯やゆず湯を楽しまれている。 | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 夜間は必ず寝巻を着用していただき、朝夕の区別と安眠出来る環境を作っている。夜間の安全を重視、時間帯を探り、トイレ誘導、オムツ交換をしている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 民謡、カラオケ、描画、俳句、好きな番組のテレビ観賞、ドライブ等している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 趣味の絵を描かれたり、カラオケを楽しまれる方もおられる。目の不自由な方は、ラジオを聴くのを楽しみにしておられた。 | | |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | ホーム内での金銭管理はトラブルを避ける為、所得しない事を本人、家族様とも共有している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 近隣の商店街でのお買い物や、散歩、通院、リハビリテーション等支援している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者の希望も聞きながら、散歩やスーパーへの買い物・外食に出かけておられる。ご家族と出かける方もある。 | | 今後、車を使って、みんなで出かけるような機会作りを考えておられた。 |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | ドライブ、お花観賞、関連施設での行事参加、御参り等の外出支援をしている。 | | |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | ワン切り、支援をし、呼び出しによる電話会話やハガキ、手紙のやり取りをしている。 | | |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 家族会を開催している。いつでも、どなたでも気軽に訪問出来る様対応、支援している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|--|---------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 全員意識して取り組んでいる。 | | |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 築95年余りの建物なので敷も16cmの高さで、マンツーマンケア、鍵をかけないケアにしている。 | | |
| | | | (外部評価) 事業所では職員の見守りにより、鍵を掛けないケアを実践されている。 | | |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 安全、安心を基準に利用者一人一人の様子を確認し、スタッフ全員が共通認識配慮されている。 | | |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 各担当者を決め、利用者一人一人の物品の整理、常に危険を防ぐ意識は全員にあり、努力している。 | | |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 事故防止に取り組み、全員意識しているが、起こるべくして起こる事故もあるが、都度検討している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 研修会、勉強会などにて学んでいる。事故発生時の対応は現在の所でできている。 | | |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 災害対策に対しては、近隣、自治会、消防署等の協力は得られる様になっています。 (外部評価) 近くにある法人内デイサービスや診療所と合同で、避難訓練を年一回実施されている。運営推進会議で、災害時、地域の協力が得られるよう話し合いされている。現在、段差解消等、避難口の整備をすすめておられた。 | | 管理者は、今後、消防署の協力を得ての訓練や、緊急時の手順等を明確にして、訓練を重ねていきたいと考えておられた。 |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価) 各利用者の家族には都度十分な説明をして話し合う事が出来ている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 利用者の体調には日頃より様子観察変化した場合は情報を申し送り対応に配慮されるように出来ている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|--|
| 74 | | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 申し送りや業務日誌の記入により、利用者の服薬と体調変化について確認出来るよう、実施している。 | | |
| 75 | | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 便秘については繊維質の食材使用、乳製品と水分補給に気をつけている。 | | |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 口腔内は、朝起床時義歯を装着する時、毎食後の口腔はチェックして清潔保持している。 | | |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 食物の好き嫌等があるが、栄養バランス良く、利用者一人一人に提供している。 (外部評価) その日その日で、食事担当者が献立を立てておられる。野菜を中心に毎食バランスの良い献立作りを心掛けておられた。主食も雑穀米・麦飯・雑炊と工夫を凝らし、乳製品も多く採り入れるようにされている。ポカリスエットや麦茶・野菜ジュース等、水分確保できるよう、職員は利用者へ声をかけておられる。 | | |
| 78 | | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | (自己評価) 清潔保持の為、手洗い口腔ケア、寝具などの乾燥、洗濯、清掃等を行なっている | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 79 | | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | (自己評価) 冷蔵庫の中身の点検。食材の購入にも気をつけている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | (自己評価) 玄関周りに花畑を作り、表札を掛けている。 | | |
| 81 | 29 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) リビング兼食堂は皆一同集まれる場所。大きなテーブルを置き、季節の花を生け、利用者の作品やスナップ写真を飾っている (外部評価) 平屋で一戸建ての事業所で、手入れの行き届いた庭に季節の草花も多く、利用者の目を楽しませてくれている。古くから使い込まれた家具や調度品等を使われている。利用者が日中過ごすことの多い居間は、床暖房を設置し、利用者の絵や季節の草花があちらこちらに飾られていた。 | | レクリエーション等を取り入れ、楽しみながら運動をしている。 |
| 82 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) 食事の時は座る位置が定められている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | 各居室にはタンス、ベットが設置され、思い思いの装飾が施されている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 居室には、古くからこの家にある年代もののタンスや装飾品等があった。居室の雰囲気は、利用者の年代に馴染み、落ち着いて過ごされている様子がうかがえた。 | | |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | 居室はなるべく締め切るのではなく、外気が流れ込んだり、台所やリビングの話し声が聞こえてくるように工夫している。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 段差のある所には手摺、勝手口にはスロープ、風呂場にはシャワースイスなどを準備している。 | | |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 物を取りやすいように定位置を決めている。 | | |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | ウッドデッキで日向ぼっこをしたり、物干しを手伝ってもらったりしている。 | | |

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|---|------------------------------|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 一人一人の思いをくみとれるよう努力しています。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 高齢者が多いため自室で過すことが多い。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 外出時には声かけし、本人の気分に合わせて外出しています。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 医療との連携を密にし、24時間訪問看護で守られています。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 家族の訪問が多い。信頼関係が出来ている。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない | 地域の人達の交流を大切にしている。 |

